

# MT夢クラブ21でスポーツを指導している人は・・・

次に、このMT夢クラブ21でスポーツを指導している人に、クラブと部活動の違いや今後の取り組み方について聞いてみました。

MT  
夢クラブ  
21

スポーツ系  
指導者

自分たちの活動はバレーボールの活性化につながると思う

美濃加茂クラブ（バレーボール）

草田貴弘さん



▲草田貴弘さん。自身も美濃加茂クラブに入っていて、子どもたちを指導した後、練習しています。

よって練習メニューを組み立てたり、各個人の技術（レベル）に合わせて指導しなければならぬし、やはり週1回とはいわず、週2〜3回は活動していきたいです。1週間の中で2時間という限られた練習時間では、準備運動から全体的な練習までになると少し難しい気がします。

このMT夢クラブ21が始まってから、一番の問題はやはり、プラザちゅうたいななどの練習施設の確保ではないでしょうか。仮に、夜の7時からのコートが確保できれば、自分たちも活動しているので、コートの半面をMT夢クラブ21の子どもたちに、半面を自分たちというように使うことができます。

そうすれば、子どもたちに社会人のバレーボールというものがどれくらいものか見本となります。

施設確保にはMT夢クラブ21だけでなく、それ以外の団体も活動している現在の状況では、施設を確保するための調整が課題です。

現在、部員数の問題で中学校の男子バレー部が廃部になるところまで来ているところもあるようなので、こうした自分たちの活動はバレーボールの活

性化につながると思うのです。やるからには、参加者の技術向上はもちろん、うまくなってほしいですから、こちらも一生懸命指導してあげたいです。

このクラブで、今は難しいですがバレーボール以外にもいろいろなレクリエーションや、クラブ運営などに会員が参加できるようにしてみたいです。子どもたちといっしょに活動しながら、いろいろな話を聞いて、いつかほかの地域のクラブと対外試合ができればと思っています。

今後もスタッフの指導体制を強化し、会員の子どもたちとともに夢クラブの活動を盛り上げていきたいと思っています。



▲美濃加茂クラブの練習風景。中学校の部活動とは違い、こうしたクラブでは、練習する服装も違います。子どもたちはコーチの話をみんな真剣に聞いていました。